枕草子（3）

清少納言

枕草子

うつくしきもの【瓜にかきたるちごの顔。
かわいらしいもの。　瓜に描いてある幼児の顔。

①雀の子のねず鳴きするに踊り来る。二つ三つばかりなるちごの、
二、三歳ほどの幼児が、

急ぎて這ひ来る道に、いと小さき塵のありけるを、
急いではって来る途中に、　とても小さいごみがあったのを、

目ざとに見つけて、いとをかしげなる指に②捕らへて、
目ざとく　とても愛らしい指につかまえて、

大人ごとに見せたる、いとうつくし。
大人たち一人一人に見せている（様子は）、

頭は※尼そぎなるちごの、目に髪の覆へるを、かきはやらで、
頭はあまそぎにしている幼女が、　目に髪がかかっているのを、かき払いはしないで、

うち傾きて物など見たるも、うつくし。】
顔を傾けて

（第百四十五段）

月のいと明かきに、川を渡れば、牛の歩むままに、
月のとても明るい夜に、（牛車で）川を渡ると、牛が歩くにつれて、

③水晶などのわれたるやうに、水の散りたるこそをかしけれ。
水晶などが割れたように、　水が飛び散ったのは　風情がある。

（第二百十六段）

※尼そぎ…髪を肩のあたりで切りそろえる髪型。当時の女性は、出家して尼となる場合、髪を肩のあたりで切りそろえた。この尼の髪型のようであるので、尼そぎという。

ものづくし

『枕草子』の約三百の章段の中には、「山は」「うつくしきもの」など、ある標題を掲げてその同類のものを列挙するものがあり、「ものづくし」とよばれる。

（例）あてなるもの　薄色に白襲の汗衫。かりのこ。削り氷に甘葛入れて、あたらしき鋺に入れたる…（第四十段）

虫は　鈴虫。蜩。蝶。松虫。きりぎりす…（第四十一段）

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 本文中の【 】で囲まれた範囲(はんい)で、「うつくしきもの」として挙げられているものはいくつあるか。算用数字で答えなさい。

〔　　〕

(2) ——線①「雀の子のねず鳴きするに踊り来る」とはどのような意味か。適当なものを選びなさい。

ア 雀の子が、ねずみのような鳴き声で踊るようにやって来る。
イ ねずみが、雀の子のもとに鳴きながら踊るようにやって来る。
ウ 雀の子の鳴き声を聞いて、ねずみが踊るようにやって来る。
エ ねずみの鳴きまねをすると、雀の子が踊るようにやって来る。

〔　　〕

(3) ——線②「指に捕らへて」とあるが、何を指でつまんでいるのか。適当なものを選びなさい。

ア 瓜　イ 雀の子　ウ 塵　エ 大人

〔　　〕

(4) 「うつくしきもの」として述べられている内容に合うものを選びなさい。

ア 瓜に描いてある幼児の顔はかわいらしい。
イ 見つけたごみを捨てる幼児はきれい好きだ。
ウ 尼そぎの幼児が髪を払いのける姿は美しい。

〔　　〕

(5) ——線③「水晶などのわれたるやうに」とは何の様子をたとえたものか。適当なものを選びなさい。

ア 月がとても明るい様子。
イ 牛が歩く様子。
ウ 水が飛び散る様子。

〔　　〕